

日本最大の上月下方墳



川越市立博物館第46回企画展

古山王塚 墳

—上月下方墳の謎に迫る—

2019年
3/16(土)~5/12(日)

- 開館時間 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 3月18日(月)・22日(金)・25日(月)・4月1日(月)・8日(月)・15日(月)・22日(月)・26日(金)・5月7日(日)
- 入館料 一般200円(160円) 大学生・高校生100円(80円) 小・中学生 無料
- 交通案内 ※()内は20名以上の団体料金
- 東武東上線・地下鉄有楽町線・地下鉄副都心線・JR川越線川越駅または西武新宿線本川越駅から
- 東武バス「蔵のまち経由」乗車 札の辻バス停 下車徒歩10分
- 東武バス「小江戸名所めぐり」乗車 博物館バス停 下車すぐ
- イーグルバス「小江戸巡回バス」乗車 博物館・美術館前バス停 下車すぐ
- 川越市立博物館 〒350-0053 埼玉県川越市郭町2-30-1
Tel.049-222-5399・Fax.049-222-5396
URL <http://museum.city.kawagoe.saitama.jp/>

展示関連企画

シンポジウム

山王塚古墳 —上月下方墳の謎に迫る—

日時 平成31年4月20日(土) 10:00~16:30

場所 川越市やまぶき会館 ホール(川越市郭町1-18-1)

当日受付・入場無料(詳細は上記博物館URL参照)

開催にあたって

7世紀は、列島各地で築造された前方後円墳が姿を消し、中小の円墳を主体とする終末期古墳が築造されていた時期です。そして豪族が各地を支配していた古墳時代から、天皇中心の国づくりが行われた奈良時代への過渡期にもあたります。そのような激動の時代で、特に異彩を放つのが全国で10基程度しか確認されていない「上円下方墳」です。

市内の大東地区には、上円下方墳の中でも最大となる市指定史跡・山王塚古墳が非常に良好な状態で残されており、近年では国指定史跡を目指して範囲内容を確認するための発掘調査が行われてきました。

今回の企画展では、発掘調査により様相が明らかになりつつある山王塚古墳を中心とした上円下方墳に着目し、同時期に造られた終末期古墳との関係や、造られた時代背景の紹介を通じて、上円下方墳の実態に迫ることを目的としました。また、併せまして、発掘調査の成果と文献資料の考察を通じて、これらの古墳に葬られた人物についての復元も試みています。

現代まで継承されてきた希少な古墳を通じ、遙か古代の世界に思いをはせていただければ幸いです。



展示構成

第Ⅰ章 前方後円墳の終焉と終末期古墳

第Ⅰ節 山王塚古墳出現前夜 —入間地域の終末期古墳—

第Ⅱ節 武蔵の終末期古墳

第Ⅱ章 上円下方墳の出現

第Ⅰ節 山王塚古墳

第Ⅱ節 各地の上円下方墳

第Ⅲ章 上円下方墳が造られた時代

第Ⅰ節 「豪族と古墳」から「地方官人と官衙」へ —律令制による国づくり—

第Ⅱ節 武蔵と上円下方墳

附 篇 文字資料にみえる入間郡に関連した譜代氏族 —山王塚古墳の被葬者像を求めて—

- 1: 山王塚古墳出土 須恵器長頸壺 (川越市教育委員会蔵)
- 2: 同 須恵器平瓶 (川越市教育委員会蔵)
- 3: 牛塚古墳出土 金銅製指輪 (当館像)
- 4: 八幡山古墳出土 漆塗木棺関連遺物 (さきたま史跡の博物館蔵)
- 5: 西原1号墳出土 圭頭大刀 (東松山市教育委員会蔵/写真提供: 小学館)
- 6: 山王塚古墳發道部 遺物出土状況 (川越市教育委員会)
- 7: 山王塚古墳基壇状盛土 検出状況 (川越市教育委員会)
- 8: 天文台構内古墳 石室全景 (三鷹市教育委員会)
- 9: 武蔵府中熊野神社古墳出土 銀象嵌踏房金具 (府中市教育委員会蔵)
- 10: 武蔵府中熊野神社古墳 石室全景 (府中市教育委員会)
- 11: 野地久保古墳 全景 (白河市教育委員会)
- 12: 石のカラト古墳 全景
- 13: 湯水柳北1号墳 全景 (沼津市教育委員会)

関連事業

歴史講座

3月24日(日)・4月7日(日)・14日(日)
2月20日(水)から電話またはFaxで申込み